

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 1 区分

【発行日】平成 19 年 8 月 2 日 (2007.8.2)

【公表番号】特表 2007-508527 (P2007-508527A)

【公表日】平成 19 年 4 月 5 日 (2007.4.5)

【年通号数】公開・登録公報 2007-013

【出願番号】特願 2006-530040 (P2006-530040)

【国際特許分類】

G 0 1 N 33/53 (2006.01)

A 6 1 K 38/00 (2006.01)

A 6 1 P 9/04 (2006.01)

C 1 2 Q 1/68 (2006.01)

C 1 2 N 15/09 (2006.01)

【F I】

G 0 1 N 33/53 Z N A D

A 6 1 K 37/02

A 6 1 P 9/04

C 1 2 Q 1/68 A

C 1 2 N 15/00 A

【手続補正書】

【提出日】平成 19 年 6 月 14 日 (2007.6.14)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

- (a) 高血圧性終末器官損傷を発症する危険性がある対象の生体試料を採取し、
 (b) 該試料中の少なくとも 1 つの非筋細胞マーカーのレベルを定量し、ここに、該非筋細胞マーカーはガレクチン - 3 およびトロノスポンジン - 2 よりなる群から選択され；
 (c) 該マーカーのレベルを標準のレベルと比較し、次いで、
 (d) 該マーカーのレベルが高血圧性終末器官損傷を発症する危険性を示すか否かを決定する；

ことを特徴とする、高血圧性終末器官損傷の危険性がある対象を同定する方法。

【請求項 2】

該生体試料が末梢血液に由来する血漿試料である請求項 1 記載の方法。

【請求項 3】

マーカーのレベルが酵素結合免疫吸着検定法 (E L I S A) によって測定される請求項 1 または 2 記載の方法。

【請求項 4】

高血圧性終末器官損傷を発症する危険性がある対象を同定するための 1 以上の非筋細胞マーカーの使用であって、該非細胞マーカーはガレクチン - 3 およびトロノスポンジン - 2 よりなる群から選択される使用。

【請求項 5】

鬱血性心不全および高血圧性終末器官損傷の予防およびまたは治療用の医薬の製造のためのガレクチン - 3 の使用。

【請求項 6】

鬱血性心不全および高血圧性終末器官損傷の予防およびまたは治療用の医薬の製造のためのトロンボスポンジン - 2 の使用。